

## 廃タイヤリサイクル状況推移

資料出典；JATMA（日本自動車タイヤ協会）

### ●廃タイヤ発生量推移

単位：100万本

		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	前年差
廃タイヤ発生量	タイヤ取替時	76	79	78	78	79	1
	廃車時	14	12	12	11	11	0
	合計	90	91	90	89	90	1

### 有効利用量の推移

単位：千トン

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	前年差
製紙工場	425	433	476	413	407	▲ 6
化学工場	112	136	113	104	116	12
セメント工場	73	81	67	60	62	2
中小ボイラー	3	5	5	2	1	▲ 1
タイヤメーカー工場	2	3	2	1	1	0
熱分解施設	1	2	1	3	3	0
再生ゴム・ゴム粉	84	85	88	89	89	0
原形加工利用（鉄原料含む）	1	15	24	20	29	9
製鉄工場	17	0	0	0	0	0
<b>有効利用量</b>	<b>718</b>	<b>760</b>	<b>776</b>	<b>692</b>	<b>708</b>	<b>16</b>
非有効利用最終処分量	11	14	6	3	3	0
<b>有効利用率（％）</b>	<b>98.5%</b>	<b>98.2%</b>	<b>99.2%</b>	<b>99.6%</b>	<b>99.6%</b>	<b>-</b>

#### <留意事項>

- ①有効利用率は「有効利用量」 / 「有効利用量 + 非有効利用最終処分量」 × 100で算出しています。
- ②国内の有効利用率を算出する観点から、中古タイヤ輸出及び切断品/破砕品輸出、輸入され有効利用された切断品/破砕品は除外しています。
- ③廃タイヤ切断品/破砕品の2025年の年間輸入量は約20万6,600トンでした。前年に比べ約3万6千トンの増加となり、2023年以降3年連続で最高値を更新しています。